

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	サステナブルビルディング評価フレーム調査小委員会	主 査 名：横尾昇剛 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：小玉祐一郎 主 査 名：
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ● サステナブルビルディングの事例調査 (海外、国内) ● サステナブルビルディングを評価する評価手法の調査 (海外、国内) ● ステークホルダーへのヒアリング実施 ● 海外の研究者を交えたセミナー (あるいはシンポジウム) を開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査 横尾昇剛、宇都宮大学、幹事 武政祐一 鹿島建設、幹事 樋山恭助 東京大学、伊藤雅人、三井住友信託銀行、今井康博、大林組、大岡龍三、東京大学、大村紋子、レンドリース、角陸順香日本設計、菅健太郎 アラップ、田村雅紀 工学院大学、高木智子 東京大学、丸野道明 鹿島建設、三井所清史岩村アトリエ、山本 明 東京都オブザーバー 平松宏城 CSR デザイン	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2012 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外におけるサステナビリティ検討フレーム事例、アラップ菅氏、参加 10 名 2. 国内の評価システム事例、日本政策投資銀行 参加 15 名 3. 東京都の制度の動向、東京都環境局荒田氏 参加 10 名 4. アジアのサステナビリティ取り組み動向、レンドリースアジアサステナビリティ部門長 Man Yang 氏 参加 15 名 6. リジェネラティブデザイン、UBC Raymond Cole 教授、参加 10 名 7. 大林組技術研究所見学会、8 名 8. JPTOWER 見学会、10 名 9. 清水建設本社ビル見学会、12 名 10. JR 神田万世ビル見学会、16 名
大会研究集会	1. 2012 年大会研究協議会 環境性能を超えて サステナビリティを評価する 参加者数 100 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先進事例の見学を行い、サステナブルビルの動向を把握した。 2. 行政、金融、不動産分野のステークホルダーを招き、意見交換を行った。 3. 海外の研究者、実務者を招き海外の動向を把握し、意見交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海外研究者、実務者を招く場合の費用調達の支援が必要。 2. 見学会、勉強会を開催するにあたり、短期間での決定プロセスが必要。 3.